

市民海外レポーター瀧和子さん（ドミニカ共和国）  
派遣期間 H29.10～H31.10

# カリブの島より... vol. 2

ドミニカ共和国 瀧 和子

こんにちは。

JICA シニア海外ボランティアでドミニカ共和国に滞在中の瀧でございます。

ドミニカ共和国に到着してから2ヶ月が過ぎました。

前回、最初のご報告にはこれという名前をつけていなかったのですが、今回より

「カリブの島より...」

として、当地の情報などを発信していければと思います。

今回第2号として、どうぞよろしくお願いいたします。

-----

カーリブに眠る～ 夢～たち～

目を覚ませ 時が～来た～

という歌をご存じでしょうか。

「カリブ 夢の旅」（作詞：平野祐香里 作曲：橋本祥路）

という合唱曲の冒頭部分ですが、今、わたしの目の前に広がっているのは、そのカリブ海  
そのものです。

市民海外レポーター瀧和子さん（ドミニカ共和国）  
派遣期間 H29.10～H31.10



ところで、前回、第1号にて  
「1ヶ月後の自分への10の質問」  
というものを書きました。本当は到着から1ヶ月後に書こうと思っていたのですが、遅く  
なってしまうすみません。

あらためて2ヶ月後の自分より、その答えを書きたいと思います。

1. サント・ドミンゴ（ドミニカ共和国の首都）はどんな街ですか？

ひとことで言うと、大変にぎやかな街です。

人々はしゃべり好き、車もがんがん走り、クラクションも派手に鳴らします。街  
中は建築ラッシュという感じで、市の中心地 Piantini 地区や Naco 地区はすでに  
高層マンションがところ狭しと林立しているのに、まださらに建てられています。  
5分歩くと、その間に3～4軒、建築中の建物があるという感じです。わたしが  
住むあたりはそういう中心地から少し離れているのでいくらか静かで落ち着い  
ています。

人々は大変おしゃれで、センスも抜群です。

高層マンション群は白い外壁にスカイブルーの透明なアクリル板の入ったバル  
コニーという形の建物が多く、目にとても涼やかです。

街中を歩いていると、そこいらで売られているフルーツの香りや車の排ガス、そ  
れにゴミの臭いが鼻に飛び込んできます。

## 市民海外レポーター瀧和子さん（ドミニカ共和国）

派遣期間 H 2 9 . 1 0 ~ H 3 1 . 1 0

道路は整備されている箇所としない箇所があり、舗装されているところでも、街路樹の根っこで盛り上がってアスファルトがバキバキに割れたままのところや、マンホールの蓋が行方不明のところもたくさんあります。歩くときは前と下をよく見てあるかないかと怪我をします。

### 2 . 1年を通して30度を超える熱帯モンスーン気候だそうです、実際どんな感じですか？

暑い.....そのひとことです。

今日（12月1日）も日中は30度超えです。11月中旬頃から朝晩は若干涼しくなりましたが、クーラーをつけない日はまだありません。

### 3 . 料理は美味しいですか？ どんな料理が気に入りましたか？

料理はおいしいものも、そうでないものもたくさんあります。

今はほとんど自炊していますので、自分でつくったカレーが一番好き、というのが本音です.....

スーパーで売られている肉は、切り身になったものや挽き肉には脂身がありません。たまに鶏の皮や豚肉の脂身を食したくなりますが、そういうときは部位を丸ごとぶつ切りしたかたまり肉を購入しますが、ぶつ切りしたままの骨もついてきます。骨付きのまま調理することもあります。カレーを作るときなどは生の状態で骨を引きはがします。最初は馴れなくて大変でしたが、最近は大いぐ手早くできるようになりました。

それから、プラタノ・ヴェルデ Platanos Verdes という、調理用の緑色のバナナがあるのですが、見た目はバナナそのものなのですが、味や栄養価は芋に近く、なかなかおいしいです。（写真右端のもの）

市民海外レポーター瀧和子さん（ドミニカ共和国）  
派遣期間 H29.10～H31.10



4．カリブ海に面した街だそうです、海はどんなですか？

エメラルドブルーの大変美しい海です。

海岸線から眺めても美しいですが、飛行機の上から見下ろしたカリブ海はさらに幻想的でした。



5．セント・ドミンゴは車の運転が荒いとか。実際どんな感じですか？

そのまんまです.....

セント・ドミンゴにお越しの際は、シートベルトをしっかりと締めください。

この街の運転手の反射神経・運動神経はものすごいなと思っています.....

街中を歩くときは、信号より、車の流れを見えています。

市民海外レポーター瀧和子さん（ドミニカ共和国）  
派遣期間 H29.10～H31.10

6. ドミニカ共和国は日本と違って時間にアバウトだとか。ほんとですか？

アバウトといいますが.....

「明日、電話する」

と言った人が実際に明日電話してくることはまずありません。

ここの人々は「今日はもうおしまい」と言う代わりに、明日電話する、と言うのだということを学びました...

コンサートのポスターに場所も時間も書かれていないのはわりと普通ですし、

「明日、会議をするからよろしく」と連絡をくれる人が、場所も時間も告げないのもよくあります。地下鉄にもバスにも時刻表はありません。来たものに乗ります。通勤時間帯はたくさん来ます。

それでもとりあえず物事はまわっていて、長くここに暮らしてみないとわからない時間の感覚なのかもしれませんね。

7. ドミニカ共和国の音楽にメレンゲというのがあるそうですが、どんなとき、どんなふうに演奏される音楽ですか？

ありとあらゆるシーンで演奏されます。街中でも、お祭りでも、結婚式でも、フォーマルな場でも音楽が流れ、人々が踊ります。わたしも一度だけ一緒に踊ってみましたが、かなり激しく、翌日腹筋が筋肉痛になりました。下半身が強烈に強化される踊りです。

8. 人々は優しいですか？

ものすごく優しいです。本心からの優しさと、それから「人に親切にする」ことにプライドを持っているといえますか。わたし自身が経験した中では、地下鉄やバスに乗ったとき、わたし1人に席を譲るために、2、3人いっぺんに席を立つ、ということが何度もありました。明らかにわたしより年上の方にも席を譲られたことがあります.....

9. 現地の人たちの好きな話題はなんですか？

市民海外レポーター瀧和子さん（ドミニカ共和国）  
派遣期間 H29.10～H31.10

現地の人々の言葉がしっかり聞き取れているわけではないので、どんな話題を好んでいるのか、まだわかりません。わかったらまた書きます。

10.1ヶ月後の自分、スペイン語は少しはしゃべれるようになりましたか？

はははは。

まだ頭の中で英語とスペイン語と他の言語がごちゃごちゃに混乱しています。

では、第2号はここまで、のちほど続けて第3号を書きます。

第3号では、ここでの仕事のことを書こうと思います。

わたしの専門は音楽なので、音楽関係の話になります。

ご一読ありがとうございました。